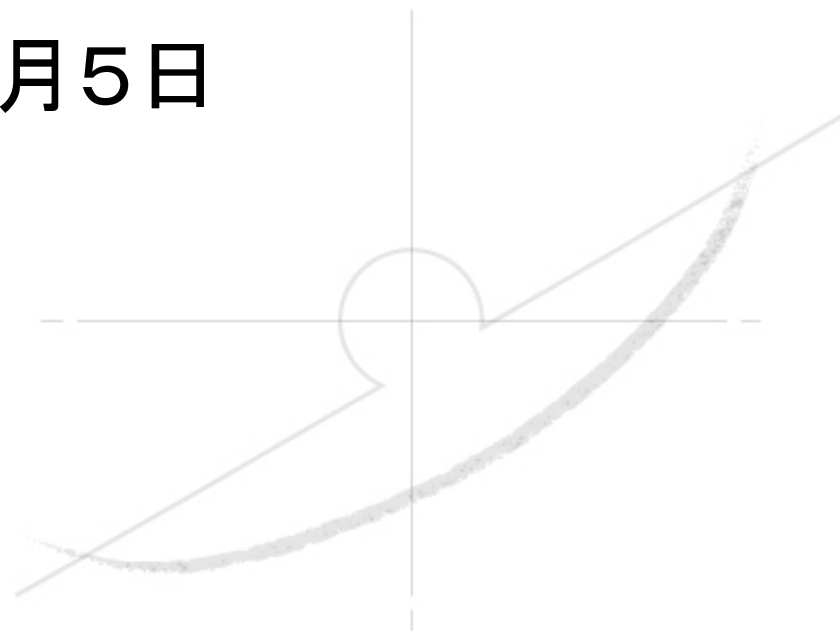




2008年度 第2四半期決算の概要

2008年11月5日



2008年 2Q決算(連結・累計) ハイライト

前年第2四半期比 大幅な増収増益

- 光部品:続伸 測定器:新製品好調
 - 売上高 2,160百万円 前年同期比 42.4%増
- 原価低減と販売管理費圧縮で利益を押し上げ
 - 営業利益 225百万円 (前年同期 1百万円)
 - 経常利益 211百万円 (前年同期 ▲27百万円)

OCT光源 OEM供与開始

- トーメーカーポレーション様 眼科用画像診断装置
 - 世界初の波長走査型OCT装置製品
 - 緑内障などの診断に活躍が期待される

2008年 2Q実績 (2Q累計・連結)

売上高42.4%増 大幅成長

(単位 百万円)

	07年2Q 実績	08年2Q 当初予想	08年2Q 実績	前年度比		予想値 差異	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	1,517	2,090	2,160	+643	+42.4%	+70	+3.4%
営業利益	1	150	225	+224	-	+75	+50.6%
経常利益	▲27	140	211	+238	+779.8%	+71	+51.2%
純利益	▲59	130	208	+267	+352.8%	+78	+60.3%

概況

全事業伸張で売上増加

光部品続伸

測定器で伸張

原価低減と経費減

原価低減による粗利増

経費圧縮



営業益 大幅増

2008年 総資産および純資産の状況(連結)

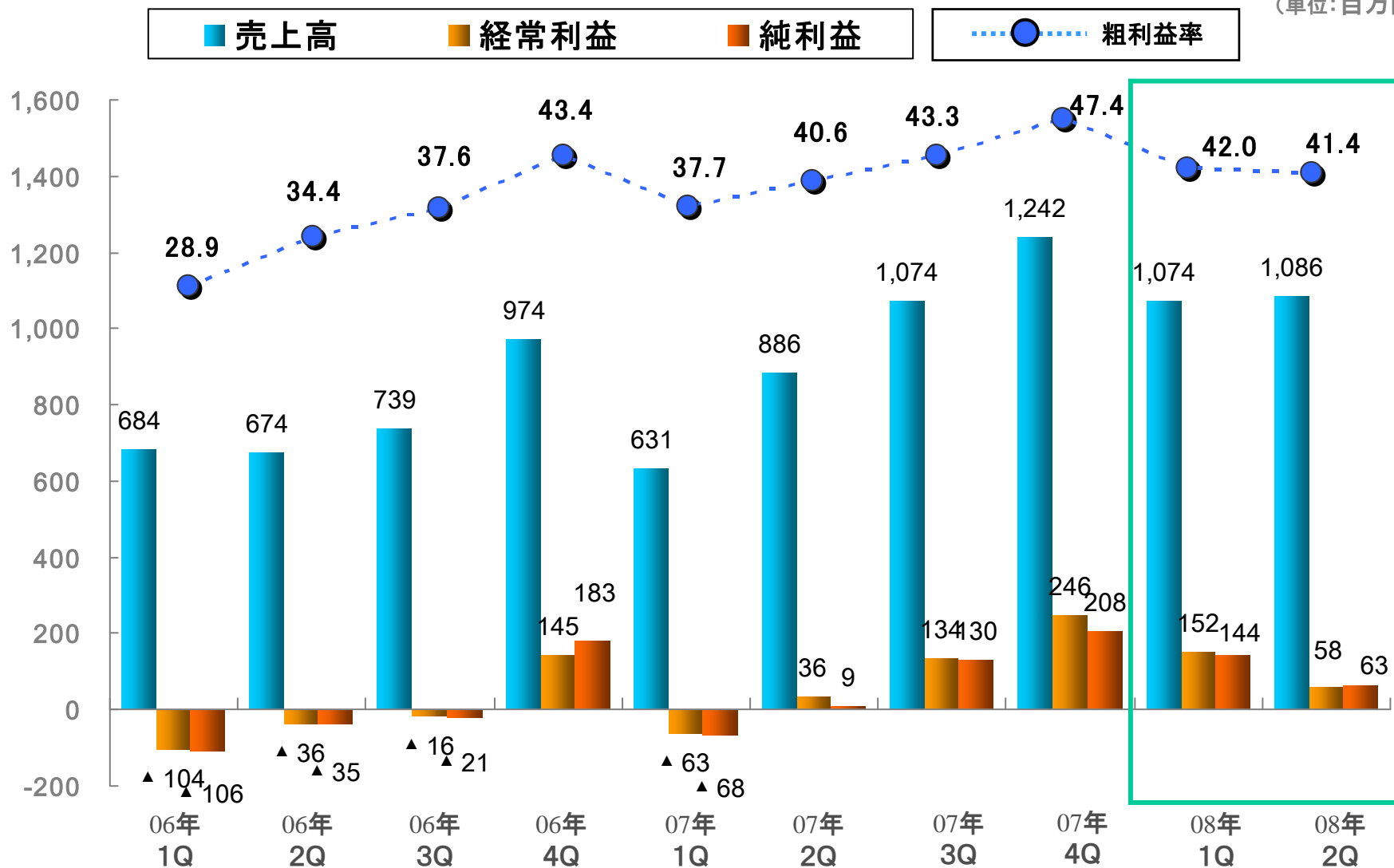
(単位 百万円)

	07年 期末	08年2Q 実績	前年度末比	
総 資 産	7,951	8,077	+126	+1.6%
純 資 産	7,036	7,132	+96	+1.4%
株主資本比率(%)	88.5%	88.3%	-	▲0.2 (%)
一株当たり純資産(円)	589.32円	596.31円	6.99円	+1.2%

業績の推移(四半期・連結)

売上増加と粗利益率向上で 業績伸ばす

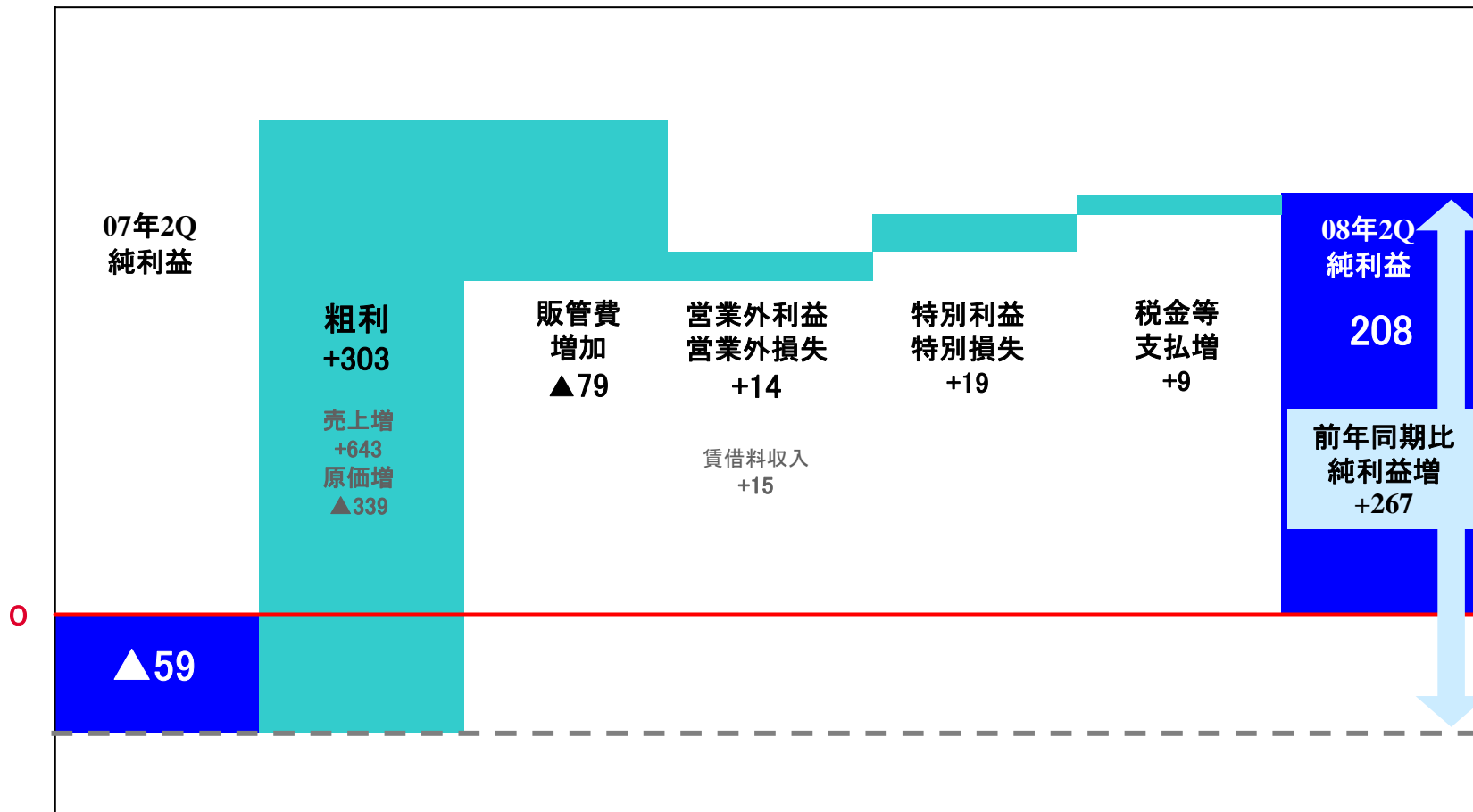
(単位:百万円)



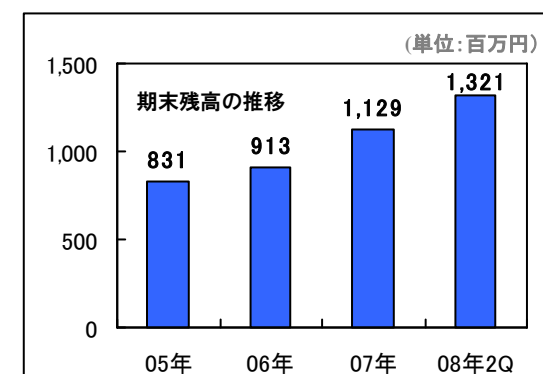
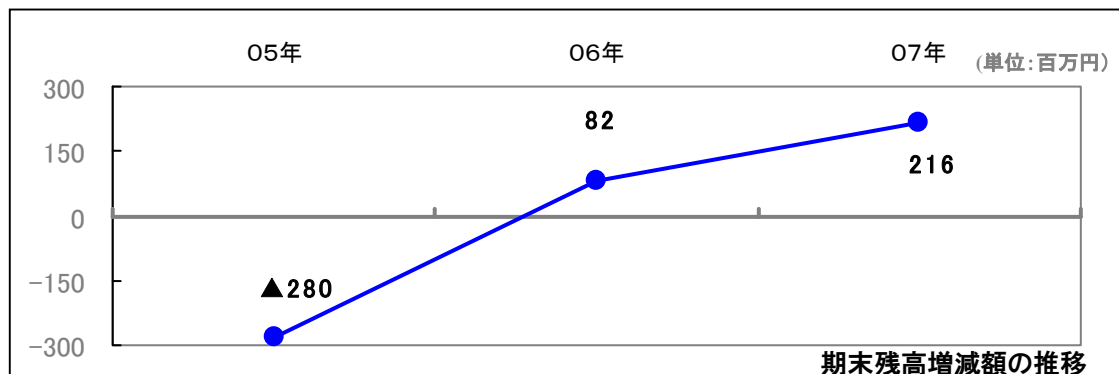
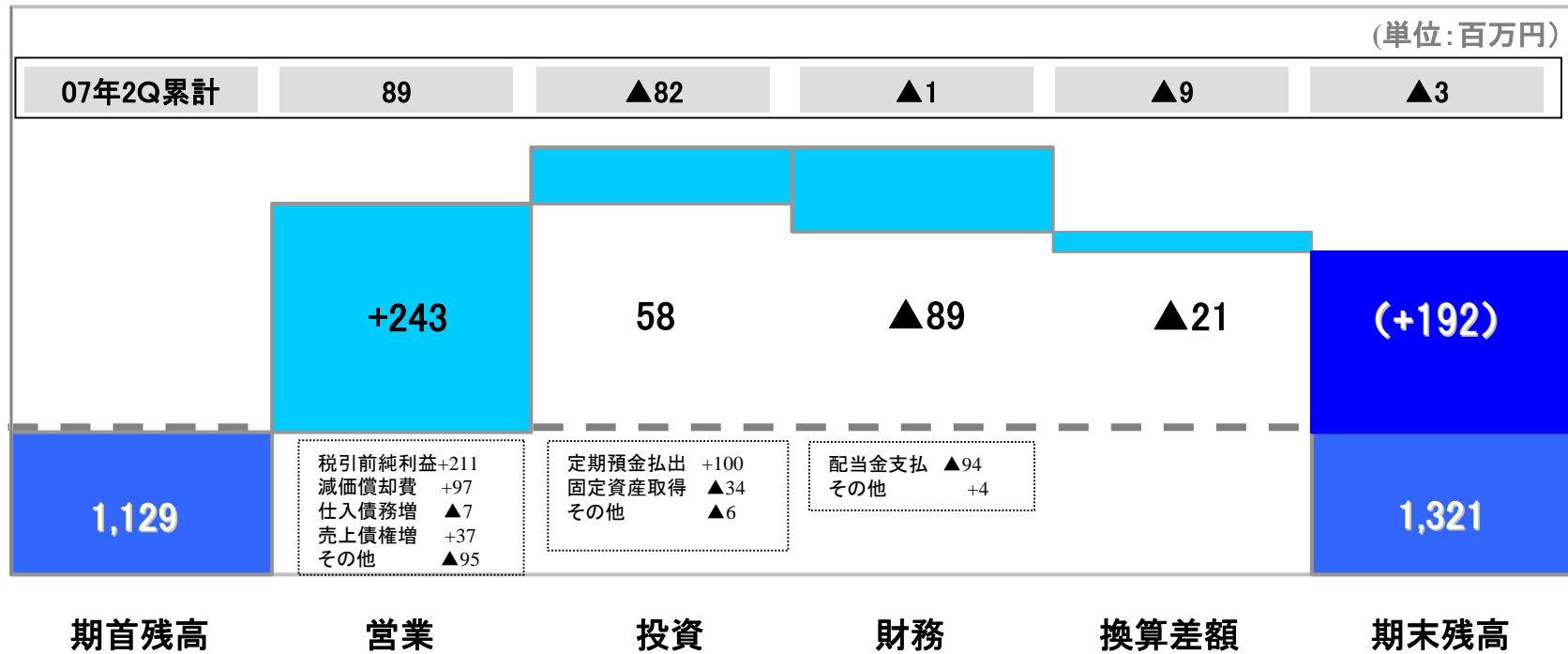
当期純利益増加の要因分析（2Q累計・連結）

売上増加と遊休資産の活用が奏功

（単位：百万円）



キャッシュ・フロー（2Q累計・連結）



事業別売上高 (2Q累計・連結)

光部品続伸 光測定器成長

(単位 百万円)

	07年2Q 実績	構成比	08年2Q 実績	構成比	前年度比	
光部品	1,143	75.3%	1,596	73.9%	+453	+39.6%
光測定器	284	18.7%	445	20.6%	+161	+56.7%
その他	89	5.9%	118	5.5%	+29	+32.6%
うち ソフトウェア	89	5.9%	117	5.4%	+28	+31.5%
合計	1,517	—	2,160	—	+643	+42.4%

概況

光部品 伸張続く

中長距離向光部品

高機能部品 成長

光測定器 成長

OCT光源OEM供与開始

可変フィルタ新製品人気

ソフトウェア積み上げ

ASP積み上げ

地域別売上高（2Q累計・連結）

生産拠点のアジア移転を反映

販売拠点別

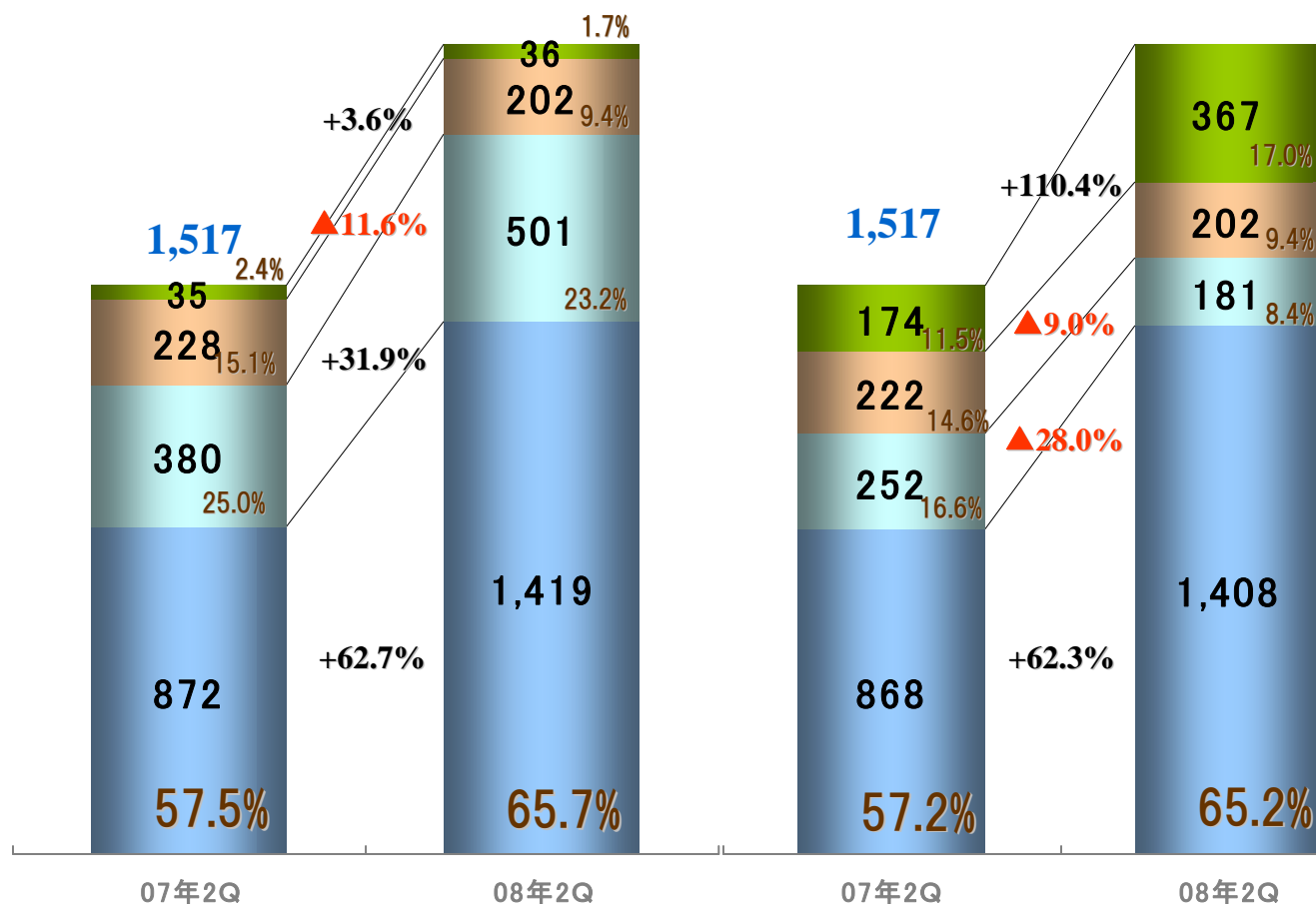
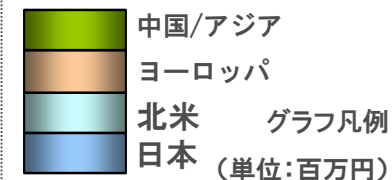
Bill to:

2,160

仕向地別

Ship to:

2,160



概況

日本快調

国内需要と輸出需要

北米堅調

域内投資は旺盛
当社製品は生産地を經由

ヨーロッパ苦戦

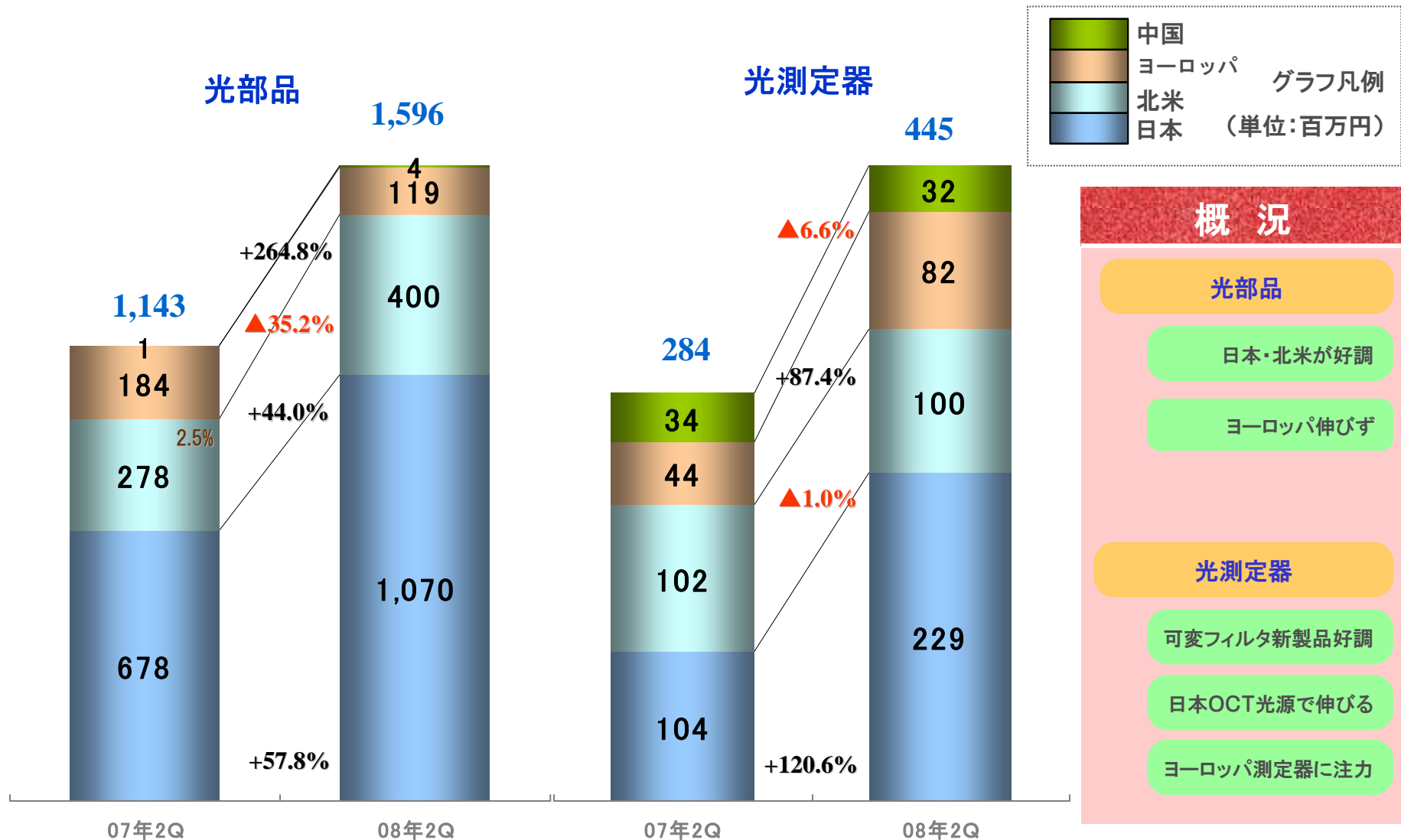
光部品主要顧客再編で難航
光測定器強化で取り戻す

アジア増加

光産業 生産拠点を中国へ

拠点別売上高(拠点/事業別・2Q累計・連結)

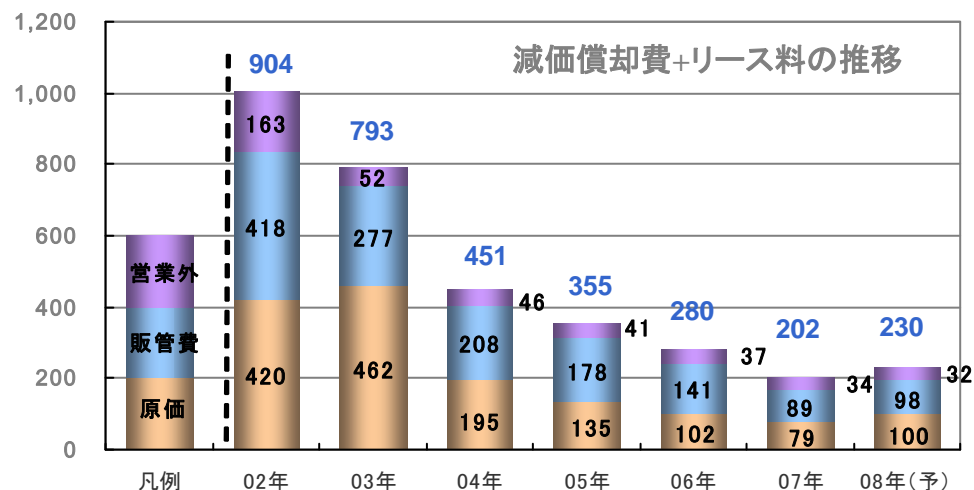
日本の光部品続伸 測定器伸張



減価償却・リースと投資の推移(単体・通期)

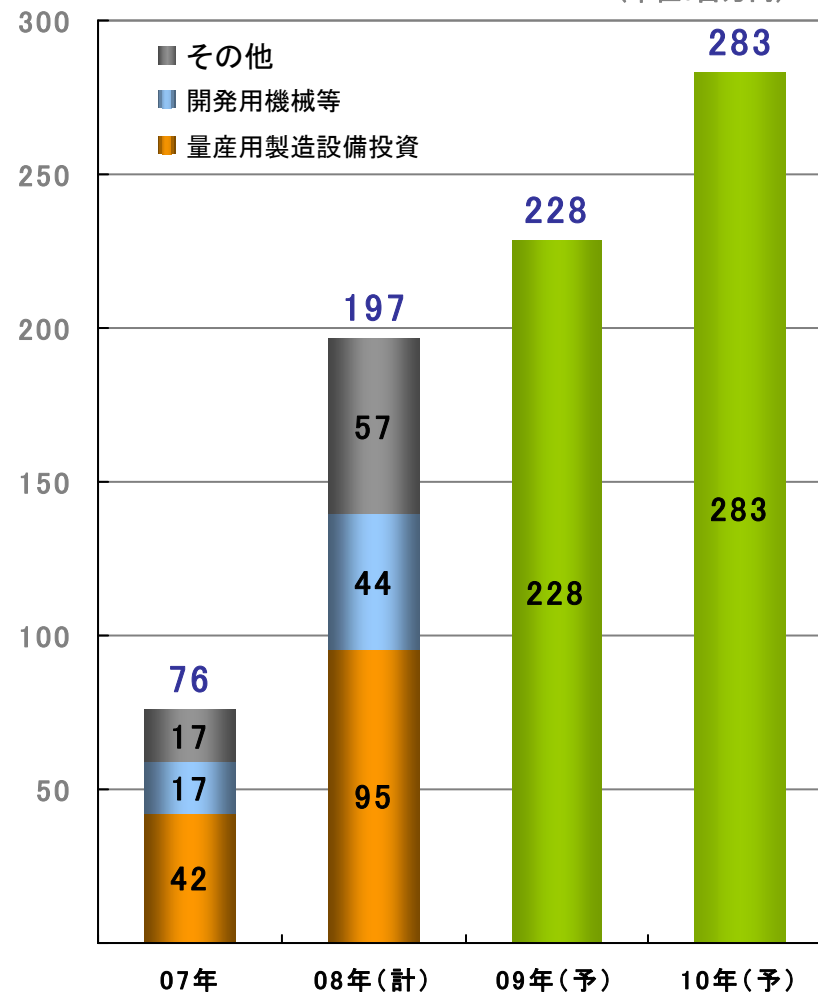
成長のための投資を実施

(単位:百万円)



今後3年間の設備投資計画

(単位:百万円)



08年度 主な設備投資の計画

量産用製造設備等	95百万円
開発用機械装置等	44百万円
その他(基幹情報システム等)	57百万円

2008年通期予想（連結）

通期予想 変更なし

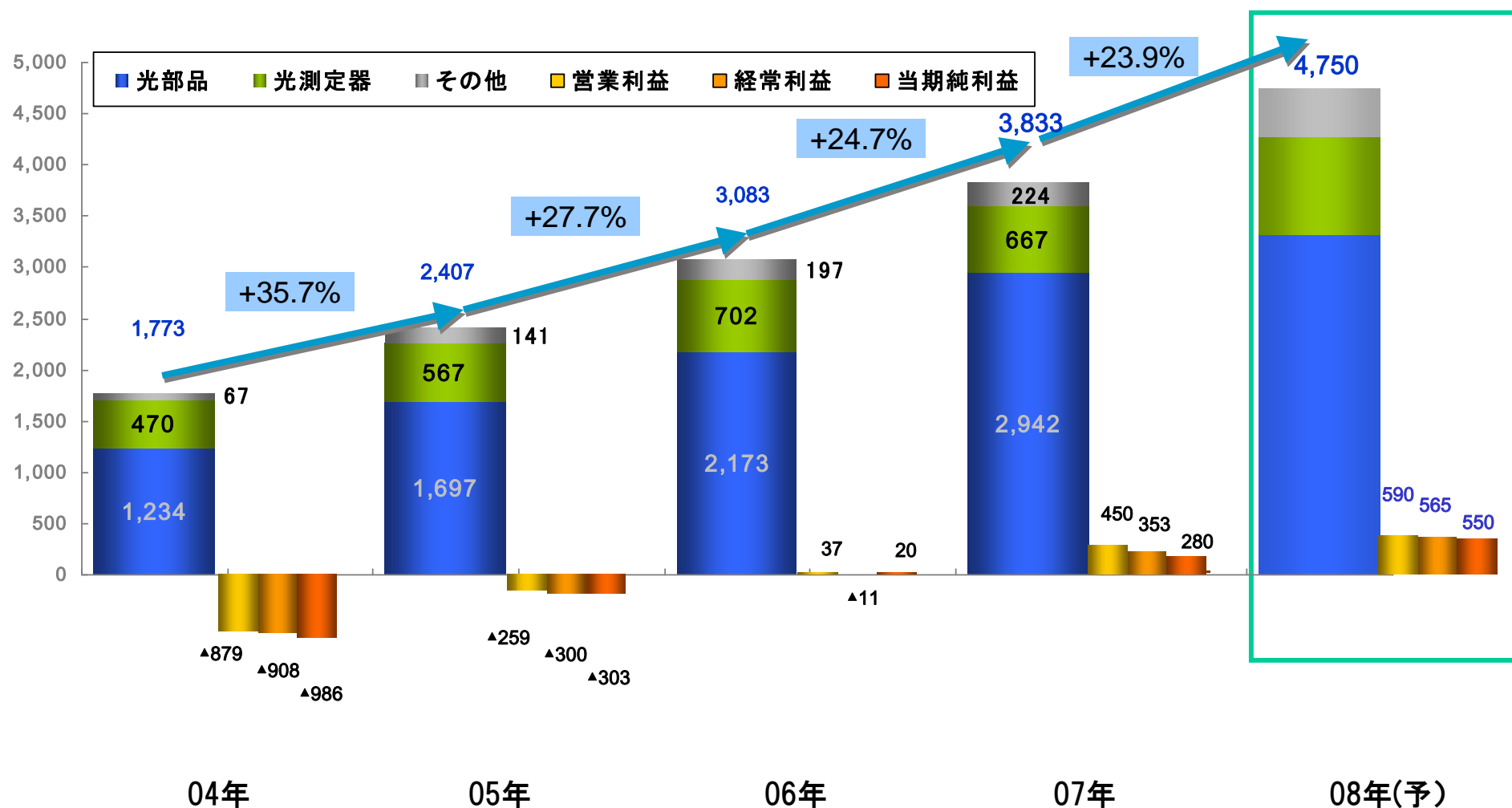
（単位 百万円）

	07年 通期実績	08年 2Q実績	08年 通期予想	07年度比（通期）	
売上高	3,833	2,160	4,750	+917	+23.9%
営業利益	450	225	590	+140	+31.1%
経常利益	353	211	565	+212	+60.1%
純利益	280	208	550	+270	+96.4%

年間業績の推移(連結)

売上高 年20%以上の成長を継続

(単位:百万円)

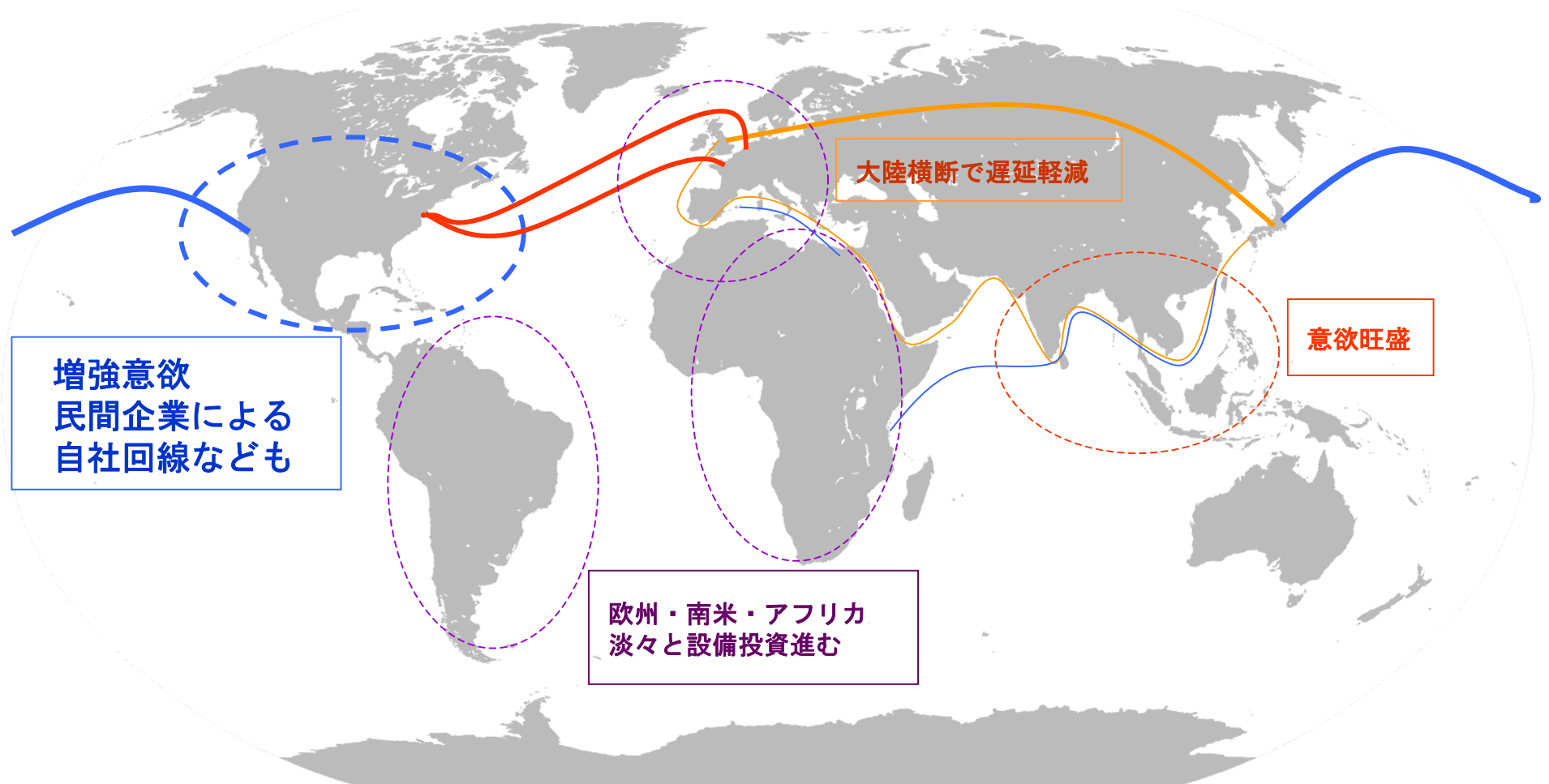




当社を取り巻く環境

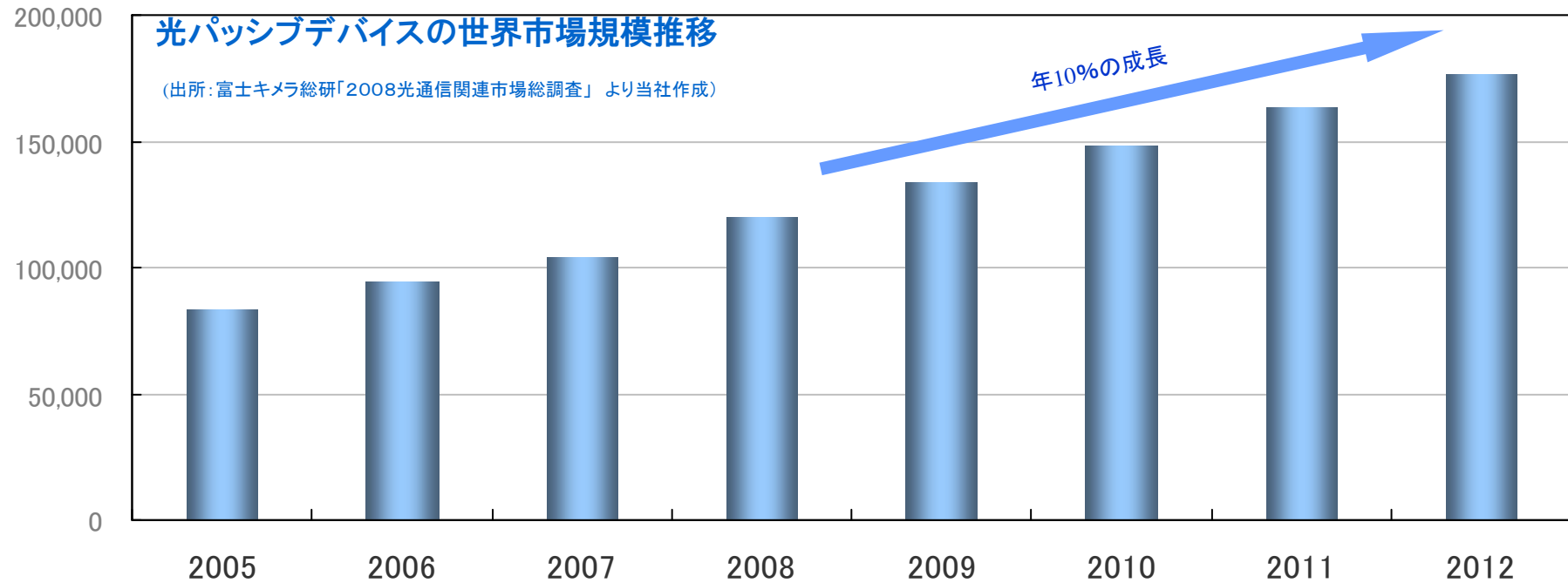


光通信投資 世界各地で

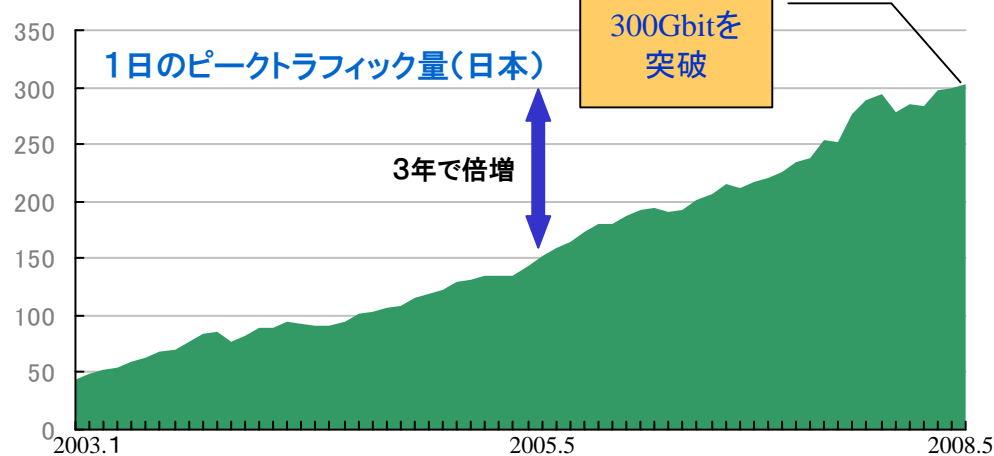


通信量増大で拡大する光部品市場

単位: 百万円

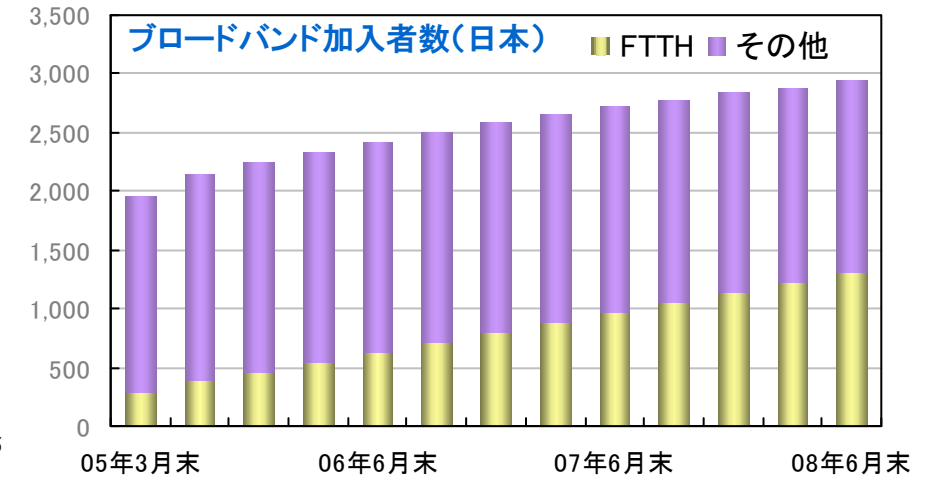


単位 Gbit



(出所: 総務省「我が国のインターネットにおけるトラフィックの集計・試算」より当社作成)

単位 万



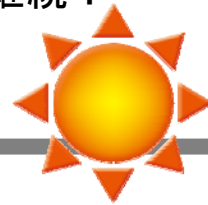
(出所: 総務省「ブロードバンドサービス等の契約数の推移」より当社作成)

光ネットワークの市況と新製品

Long Haul

長距離通信

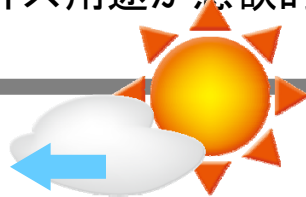
- トラフィック増対応のための増設投資が堅調
- 海底ケーブル敷設投資進む 今後も継続？



Metro

中距離・都市間通信

- FTTHに押し上げられ需要発生
- 携帯電話向けのバックボーン投資が強い
- 40Gなど高速・柔軟・エンタープライズ用途が意欲的



Access

局舎＝加入者間通信

- 日本FTTHリード、北米追従、欧州・アジアこれから
- インターネットが一般的なインフラとして定着
- 放送取り込みに推進役として期待かかる



偏波スクランブラー (PS-3300S)



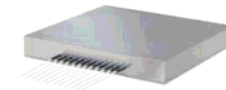
超長距離通信において使用されるモジュールです。光ファイバを伝わる信号の揺らぎを抑制し、伝送品質を向上させるものです。

コンパクトCWDM (C-CWDM)



光の多重化通信機能を提供します。従来製品の1/10の大きさにまでコンパクトにしました。

Variable Multiplexer (Vmux) Variable Combiner (Vcom)



光の多重化通信を実現するMux/Demuxに、モニタリング、パワー調整、チャンネルセレクト機能を合体させた多機能モジュールです。

トリプルプレイ レシーバ (TPR)



トリプルプレイサービス(音声・映像・データを1本のファイバで送るサービス)に使用されます。映像データを電気信号に変換する機能を付加して一体化。機器の小型化を可能にします。

世界経済減速と、通信市場への影響

業績への影響 規模は未知数

通信キャリア：業績好調



08年1Q(4~6月)増収増益

音声通信減少も、フレッツ光で収益増

収益	前年度比	+0.3%
営業益	前年度比	+24.3%



08年2Q(4~9月)増収増益

携帯 台数減も利益を押し上げる

収益	前年度比	+0.8%
営業益	前年度比	+5.3%



08年3Q(7~9月) 増収増益

売上高	+4.0%
営業益	+5.5%



08年3Q(7~9月) 増収増益

売上高	+4.1%
当期益	+31.3%

通信機器ベンダー：各社業績はポジティブ



テクノロジーソリューション・セグメント
08年2Q(4~9月)増収増益

通期業績下方修正も、通信設備は堅調

売上高	前年度比	+5.8%
営業益	前年度比	+2.2%



IT/NWソリューション事業・セグメント
08年2Q(4~9月)横ばい

海外分が為替の影響で押し下げ

売上高	前年度比	+0.2%
営業益	前年度比	△5.0%



情報通信システム・セグメント
08年2Q(4~9月)増収増益

下期はやや売上低下も利益確保

売上高	前年度比	+2.2%
営業益	前年度比	+579%

最近の主なTopic

イタリア駐在員事務所を設立

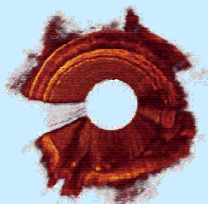


イタリア ミラノ市に駐在員事務所を設立しました。

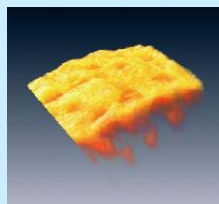
ミラノ近郊には、複数の当社顧客が拠点を有していることから、営業戦略上の要所となっています。

欧州における市場調査を中心に活動を展開します。

食道の断層画像



みかんの皮の断層画像を3D表示



樹脂ねじ断層画像を使い強度分析などを行えます。



OCT用光源装置のOEM供与を開始

当社のOCT（光干渉断層画像計）用の光源装置が、トーマコーポレーション様（愛知県名古屋市）の眼科用医療機器に採用され、本年度より出荷を開始しました。



トーマコーポレーション様
眼科用画像診断装置:SS-1000



OCT光源装置
HSL-200

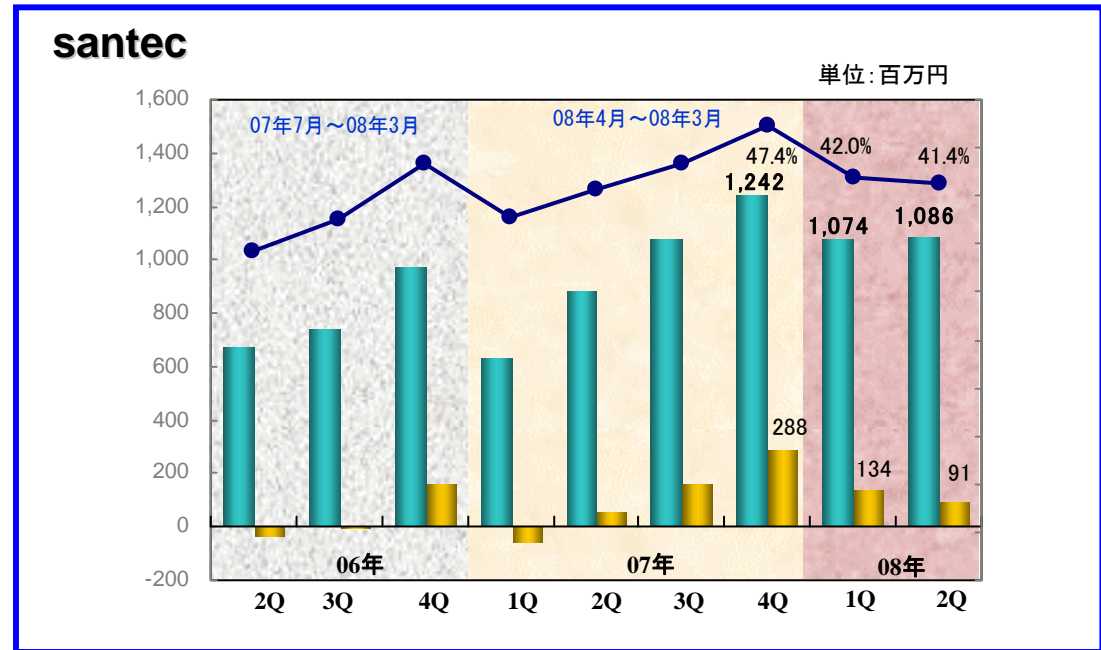
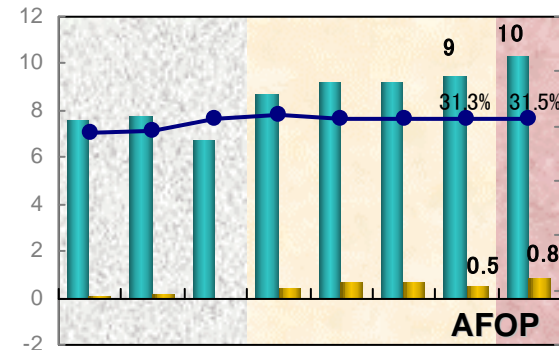
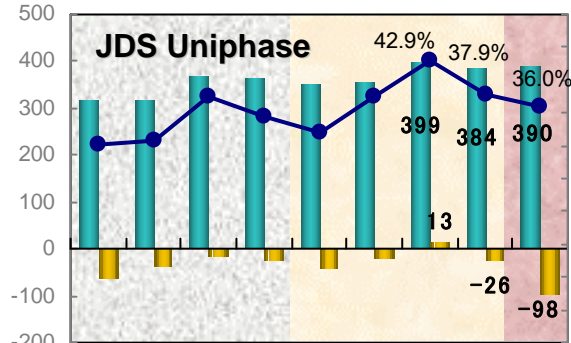
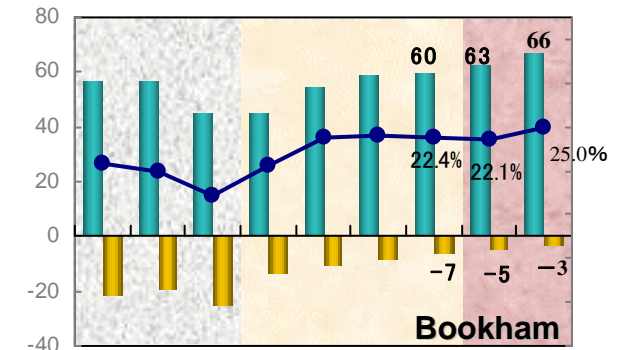
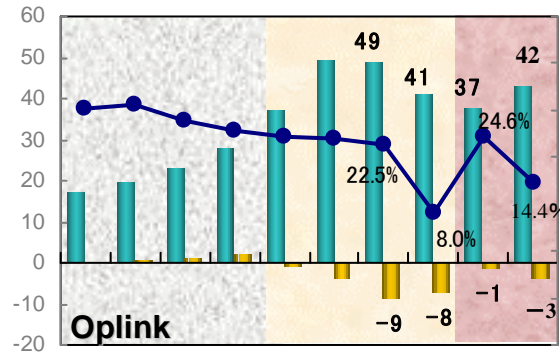
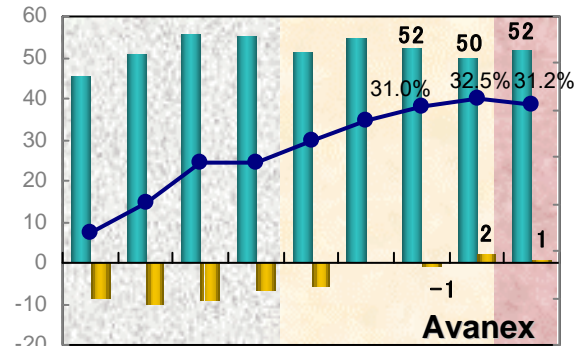
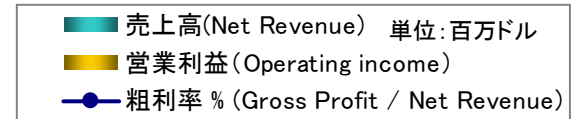
当社のOCTシステムは、光の干渉等の性質を利用して物質の断面画像を「リアルタイム」「非破壊」「非接触」「無害」に生成することができます。

医療用のほか、工業用途などでも展開を目指します。



ベンチマーク 四半期業績の推移比較

収益性に格差



※各社開示資料から弊社作成。
 ※各社とも決算期が異なりますが、便宜上当社グループの決算期にそろえて色分けしています。

2008年度

全社基本方針と経営目標



■基本方針

生産性向上と原価低減加速による利益改善

■経営目標

1. 攻めの提案営業への転換

2. 一步先をいく新製品の創造と拡充

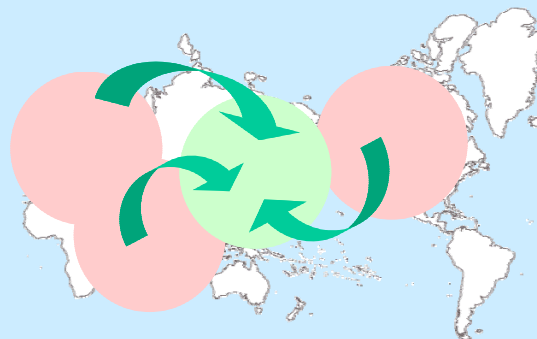
3. 生産能力増強とQDCの更なる強化

4. 内部統制システムの運用と体質の強化

攻めの提案営業への転換

事業環境の変化に対応した営業体制整備

営業体制整備



- 海外営業再編
- 販売企画強化

光源ビジネス拡大



- OEMビジネスの本格推進
- 光源応用新市場の開拓

営業力強化



- 計画的な人員強化
- マーケティング強化
- 宣伝広告強化

一歩先をいく新製品の創造と拡充

高機能・高付加価値
光コンポーネントの追求

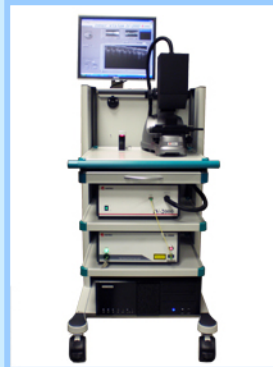


- 顧客密着で情報取り
- 技術情報発信
- 次の芽を早期開拓

生産委託の機種拡大と
原価低減推進

- 海外委託の推進で、コストダウン
- 生産の機動性を向上

OEMに耐え得る
光源開発



- 顧客ニーズの充足
 - 性能・品質・コスト
- 他社計測器との連動強化

生産能力増強とQDCの更なる強化

生産能力の増強と
資材調達力強化



競争に勝つ体制

- 納期に応える
 - 調達力&生産力向上
- コスト圧縮
- 海外委託拡充

品質向上による
競争力強化



- 更なる品質向上
- クレーム撲滅

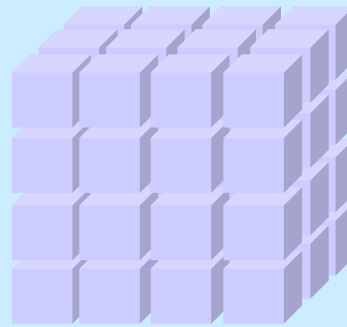
生産改革活動による
ムダ取りの徹底



- 意識を上げる
 - 全体の効率向上

内部統制システムの運用と体質の強化

内部統制システムの
確実な運用



- 内部統制報告制度
 - 08年度で準備完了
- 実運用へ
 - 実効性を重視

財務体質の改善と
ムダ排除

効果的
資金運用

資金繰
強化

在庫管理

計画的な
人材確保と育成



- 業容拡大へ向けて
 - 採用の充実
 - 効果的人員配置
 - 教育体制の見直し



The Photonics Pioneer of Networking

—— ネットワーク時代の光技術先駆者になる ——

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果はこれらの見通しと異なる可能性がありますことをご了承ください。

本資料に関するお問合せ先

santec株式会社
IRグループ長 今城 星秀
電話 0568-79-3535(代表)
URL: <http://www.santec-net.co.jp/>

〒485-0802
愛知県小牧市大草年上坂5823
フォトニクスバレー 大草キャンパス